



植物成長調整剤

石原スマレクト粒剤



農林水産省登録	第17224号
有効成分	パクロブトラゾール 0.60%
性状	淡褐色細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	4年
包装	3kg × 8袋

特長

- ✓ 本剤は水面施用されると、主に根部から速やかに稲体内に吸収され、上位3節間の伸びを効果的に抑制します。その結果、稲の曲げモーメント（草丈×生体重）を低下させ、耐倒伏性を高めます。
- ✓ 倒伏の予測可能な出穂7～20日前の時期に処理できるので、倒伏の予測される圃場での対応薬剤として使用できます。
- ✓ 処理された稲は、上位葉が直立し受光態勢の良い草姿となります。その結果、登熟歩合・千粒重の向上が期待できます。
- ✓ 本剤処理により倒伏が軽減され、品質、収量が安定し収穫作業も能率的に行えます。
- ✓ 適正薬量（2～3kg/10a）では、連年使用しても水稻生育への影響はほとんどありません。
- ✓ 無人ヘリコプターでも処理できます。

適用作物と使用方法

作物名	使用目的	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	パクロブトラゾール を含む農薬の総使用 回数
水稲	節間短縮による 倒伏軽減	2~3kg	出穂7～20日前	1回	湛水散布	1回
		3kg			出穂10～20日前	
	登熟歩合向上					

※本内容は2016年2月25日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 湛水状態でまきむらのないように均一に散布すること。
- 本剤は黒ぼく土壌では効果が十分に発揮されない場合があるので注意すること。
- 散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 重複散布や多量散布は薬害を生じたり、後作物や次年度の作物に影響する場合があるので使用量を厳守すること。
- 本剤を使用した後に後作物として野菜類を作付する場合、浅い耕起では初期生育に影響することがあるので、丁寧に深く耕起すること。
- 本剤を使用した水田土を野菜類の育苗用床土に使用することは避けること。
- 本剤は、温度、土壌、栽培品種及び連年使用など使用する水田の条件や栽培管理によって、効果の発現程度に差異を生じるので使用量、使用方法についてはあらかじめ病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ・ 散布は散布機種の散布基準に従って実施すること。
 - ・ 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ・ 粒剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整すること。
 - ・ 当該水田周辺部への飛散防止のため、散布装置のインペラ（スピナ）の回転数を低速に調整すること。
 - ・ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、圃場の端から5m以上離れた位置から圃場内に散布すること。
 - ・ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

安全使用上の注意事項



- 誤食などのないように注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い流すこと。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また、粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。